



2018/ 9.1 SAT - 7 FRI

# 高い研究倫理を 東京大学の精神風土に

研究倫理に関する問題は、たとえ一件でも発生すれば学術研究に対する社会からの信頼を大きく損ないます。  
東京大学は「研究倫理アクションプラン」を策定し、  
学生及び研究者に対する教育・研修や啓発活動の充実などの取り組みを進めています。

## 研究倫理セミナー

研究不正のリスク要因と対策・防止について考える  
～あなたの一言が不正を促す～

2018年9月4日(火) 9:45～12:00

場所: 情報学環・福武ホール 地下2階福武ラーニングシアター

今年度の研究倫理セミナーでは、講演とパネルディスカッションによって、研究不正が行われる背景や状況、研究不正のリスク要因について議論し、健全な研究活動が行われる風土を醸成するにはどうすればいいのかを検討します。学内全ての方の積極的な参加をお待ちしております。また、研究倫理ウィーク期間中、各部局においても独自に取組を実施しています。

9:45～ 開会・挨拶

9:50～ 講演1「会計及び監査領域における不正リスク要因への対応」  
講演者: 町田 祥弘 教授 (青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科)

10:30～ 講演2「科学者の信頼」  
講演者: 横山 広美 教授 (カブリ数物連携宇宙研究機構、学際情報学府大学院兼任)

11:00～ 休憩(15分)

11:15～ パネルディスカッション「健全な研究風土の醸成について考える」

12:00 閉会

\*タイムスケジュールは変更する場合があります。